



瀬戸小だより

ふれ合う 認め合う 共に学ぶ 笑顔あふれる瀬戸ヶ谷小学校

mail:y3setoga@edu.city.yokohama.jp

学校だより 8・9月号
令和4年8月29日
横浜市立瀬戸ヶ谷小学校
校長 松永 淳子
TEL 713-8336 FAX 713-9749

瀬戸ヶ谷小学校

検索 

繋ぎ、深め広げる

校長 松永 淳子

日中は日差しがじりじりと照りつけますが、朝晩は涼しい風が吹く頃となりました。耳を澄ますと虫の音も変わりつつあるようです。季節は秋に向かってるのが伝わってきます。

今年の夏の気象について、気省庁から「異常気象」であったと発表されたことを耳にしました。私が小学生の頃は、「酷暑」「線状降水帯」等という言葉聞いたことがありませんでした。今年の夏はこのような言葉を何度聞いたことでしょうか。更にコロナの感染拡大第7波ということで、子どもたちはどのような夏休みを過ごしているのか、予定通りの生活を送れているのか気になる所でした。また、低学年の子どもたちが日々大切に育てていた植物は、それぞれの家庭で順調に育っていたのでしょうか。夏休み前までは色鮮やかに咲いていた朝顔、赤や濃紺の色で私たちの目まで楽しませてくれていたトマトやナスなどの野菜は、今頃どのようになっているのか。と考えたら心配ごとは尽きませんでした。それでも大きな事故などの報告もなく39日間の夏休みを過ごし、本日8月29日を迎えることができたことに安堵の気持ちでいっぱいです。保護者や地域の皆様のご協力のおかげです。ありがとうございました。

夏休み前までの学習を振り返るとスポーツフェスティバル、水泳学習など子どもたちが楽しみにしていた学習が実施できたこと、家庭訪問や個人面談、授業参観等保護者の方々に子どもたちの学校での様子を見ていただいたり話し合う時間をもつことができたりと予定していたことが実施できたことに感謝です。この夏休みもこれからの宿泊学習や校外学習、総合学習などについて教職員は計画を立て、ここまでの学習をどのように繋ぎ発展させていくか熟慮することに余念がありませんでした。「当たり前」だと思われていたことが「当たり前ではなくなった」を考えさせられる日々ではありますが、できないこと探しではなく、今、目の前にある状況から安全に実施できることを考えていくことに考え方を変容させることに私たち教職員はもちろん、子どもたちも変わってきていることを感じています。少し視点を変えていくことで、楽しむ方法を見つけ出すことこそ思考の柔軟性であり現代を生きる「生きる力」に繋がるのではないかとさえ感じています。今までの経験を参考に、新しい方法を考え出すには時間もエネルギーも必要です。それでも、社会の状況や価値観が変わってきている今だからこそ、その状況に合わせた生活の仕方や学びのスタイルがあるのではないのでしょうか。GIGAスクール構想もその一つです。この数か月で子どもたちの端末への関心も高まり、そのスキルも上がってきています。様々な場面でここまでの学びをどのように深め、広がりをもたせていくのか思案のしどころです。今後も更なる高みを目指していきたいと思えます。

暑い日が続いていますが、子どもたちが充実した学校生活を過ごしていけるよう努めて参ります。保護者や地域の皆様もお身体ご自愛いただき、今後ともご理解ご協力いただきますよう、よろしく願いいたします。